





代表質問通告書一覧（6月25日）

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理 事 者
 (35番) 出口 武男 (自由民主党)	<p>1 知事3期目の県政運営に対する考えと平成27年度6月補正予算案について</p> <p>(1) 知事にはこれまでの経験を糧にしながら、リーダーシップを遺憾なく発揮し、県民の信頼と負託にこたえていく責任があり、3期目は、成果が問われる4年間となると思うが、今後、どのように県政運営を進めていくのか。</p> <p>(2) 3期目のスタートにあたっての大事な一歩である、平成27年度6月補正予算案の編成の考え方を伺いたい。</p> <p>2 県内就労・起業への支援について</p> <p>庁内に新しい組織を設置し、大企業の退職者等に対し、県内中小企業への再就労や起業の支援をすることとしているが、どのような効果を期待しているのか、具体的取組とあわせて伺いたい。</p> <p>3 「奈良モデル」の推進について</p> <p>知事は、「奈良モデル」のこれまでの成果をどう捉えているのか。また、今後どのように進めていくのか。</p> <p>4 関西広域連合への部分参加について</p> <p>関西広域連合へ部分参加に至った経緯、全部ではなく部分参加とされた理由、必要とされる経費など、関西広域連合への部分参加の内容について、改めて説明いただくとともに、参加時期など今後の見通しについて伺いたい。</p>	<p>知 事</p> <p>知 事</p> <p>知 事</p> <p>知 事</p>

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理 事 者
 <p>(25番) 奥山 博康 (自民党奈良)</p>	<p>1 奈良県の経済活性化について</p> <p>知事は、経済の活性化として「産業構造の改革～経済を好循環させる産業政策の推進～」を政策に掲げており、産業構造の改革を進める方法として、3つのリーディング分野と6つのチャレンジ分野に焦点を当てた「産業興し」に取り組んでいる。この「産業興し」について、これまでの進捗状況は如何か。また、今後、どのように取り組んでいこうと考えているのか。</p> <p>2 観光振興について</p> <p>(1) 本県経済を活性化させ、好循環させるためにも、観光振興は欠かせないものであり、その中でも、今後ますます増えることが予想される外国人観光客をどのように獲得していくかが、大変重要であると考え。今後さらに増加する外国人観光客を本県に誘客するため、どのように取り組んでいこうと考えているのか。</p> <p>(2) 「飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群」が世界遺産登録されれば、全国でも例のない4つの世界遺産が南北に並ぶことになり、観光振興の強力な起爆剤になるものと考え。今年度は、「明治日本の産業革命遺産」が世界遺産登録される可能性があるとのことであるが、「飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群」の世界遺産登録を更に積極的に推進してはどうか。</p> <p>3 市町村支援について</p> <p>(1) 県内の市町村は、比較的規模が小さく、また財政基盤が脆弱なところが多いことから、県からの支援は必要であると思うが、効果的な市町村への支援のあり方について、知事はどのような考えを持っているのか。</p>	<p>知 事</p> <p>知 事</p> <p>知 事</p>

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理 事 者
<p>(25番) 奥山 博康 (自民党奈良)</p>	<p>(2) 生駒市には関西文化学術研究都市高山地区第2工区があり、また、県の北西部の玄関口としての拠点機能をもつ重要な市である。この4月に新市長が就任されたところであるが、知事は、生駒市と今後どのような姿勢で関係を築き、連携を進めていこうと考えているのか。</p> <p>4 奈良らしい教育のあり方について</p> <p>今回の教育改革では、首長が総合教育会議を設置し、教育行政の基本となる大綱の策定などについて、首長のイニシアティブのもと、首長と教育委員会が連携を強化して取り組んでいくこととされており、首長の考えが今後の教育行政に大きな影響を与えるものとする。知事は、本県の教育の現状をどう認識し、今後の教育行政をどのように進めていこうと考えているのか。</p> <p>5 国等と連携した文化振興について</p> <p>奈良の持つ最大の魅力である歴史文化遺産を活かした文化振興の推進にあたっては、文化庁のみならず、県内にある政府関係機関にしっかりと応援してもらい、連携していくことが重要と考えるが、今後、どのように国等と連携した取組を進めていこうと考えているのか。</p>	<p>知 事</p> <p>知 事</p>
 <p>(43番) 梶川 虔二 (創生奈良)</p>	<p>1 安保法制と平和憲法について</p> <p>憲法違反と言われる「安保関連法案」が国会で審議されているが、知事は平和憲法を守ってきた戦後70年の意義をどのように考えているのか。また、今後も憲法9条を守るべきと考えるがどうか。</p>	<p>知 事</p>

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理 事 者
<p>(43番) 梶川 虔二 (創生奈良)</p>	<p>2 マイナンバー制度について</p> <p>(1) マイナンバー制度は、個人情報の漏洩やなりすましによる財産や権利侵害のおそれがあるのではないかと。また、そのような危険性を踏まえた対策は取られているのか。</p> <p>(2) 日本年金機構から年金加入者情報が流出した問題を徹底究明し、セキュリティが確立するまでマイナンバー制度導入を延期するよう政府に申し入れすべきと考えるがどうか。</p>	<p>知 事</p>
	<p>3 日本と東アジアの未来を考える委員会について</p> <p>日本と東アジアの未来を考える委員会の研究成果報告書は、どのような県政の課題に対処するために、どのような研究をして作成したものであるのか。</p>	<p>知 事</p>
	<p>4 国民健康保険について</p> <p>新しい国民健康保険制度のもと、財政運営の責任主体となる県として、持続可能な制度とするため、どのように対応していくのか、知事の意気込みを伺いたい。</p>	<p>知 事</p>
	<p>5 介護保険事業支援計画について</p> <p>(1) 介護人材が不足している状況において、少子高齢化が進み、要介護者の増加が見込まれ、ますます介護人材の必要性が増大する中、県は、介護人材の確保・育成について、どのように取り組もうとしているのか。</p> <p>(2) 介護療養型医療施設が廃止された場合、一番困るのは利用者であり、介護分野で利用者の受け皿づくりが必要であると考えるが、県はどのように取り組んでいるのか。</p>	<p>知 事</p> <p>健康福祉部長</p>

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理 事 者
<p>(43番) 梶川 虔二 (創生奈良)</p>	<p>6 子どもの虐待の発生予防対策について</p> <p>県では、市町村が行う家庭訪問事業の充実をどのように支援し、子どもの虐待の発生予防につなげようとしているのか。</p> <p>7 自転車の利用並びに自転車道の整備の促進について</p> <p>自転車の利用並びに自転車道の整備の促進について、県の基本的な考えやこれまでの具体的な事業内容、さらに、これからの施策展開の方向性について、知事の所見を伺いたい。</p> <p>8 高校卒業者等の就職について</p> <p>高校卒業者の就職の際に、公正な採用選考を行うためには、差別をなくすために奈良県から全国へと広がった高校統一応募用紙の趣旨を徹底する必要があるが、高校や関係機関では、採用を行う事業主に対してどのような働きかけをしているのか。また、各学校では採用試験を受ける生徒に対してどのような取り組みを行っているのか。加えて、高校中途退学者に対する就労支援の取り組み状況について伺いたい。</p>	<p>知 事</p> <p>知 事</p> <p>教 育 長</p>
 <p>(29番) 太田 敦 (日本共産党)</p>	<p>1 戦争法案について</p> <p>(1) 安倍内閣は日本を海外で戦争する国に作り替えようとしているが、戦争という過去犯した過ちを二度と繰り返してはならないと考える。過去の日本の戦争と平和について知事の所見を伺いたい。また、現在国会において審議されている安全保障関連法案、いわゆる戦争法案は憲法違反と考えるがどうか。</p>	<p>知 事</p>

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理 事 者
<p>(29番) 太田 敦 (日本共産党)</p>	<p>(2) 自衛隊は国の防衛が本来任務であり、災害派遣は主たる任務ではない。国において戦争法案が議論されており、戦争に巻き込まれる危険性が現実のものとなる恐れが高まる中、五條市への陸上自衛隊駐屯地の誘致は行うべきではないと考えるがどうか。</p> <p>2 関西広域連合について</p> <p>関西広域連合の防災、観光分野の参加を表明されたが、参加すれば、それぞれの分野について住民から離れたところで行政が行われることになるため、参加する必要はないと考えるがどうか。</p> <p>3 県内企業の販路拡大について</p> <p>県内産業の振興のため、県は県内企業の販路拡大に対して支援を行うべきと考えるがどうか。</p> <p>4 障害者の学びの場について</p> <p>障害者総合支援法の枠組みを活用した、いわゆる「障害者の学びの場」といった観点を含め、特別支援学校の卒業者に対する就労等の支援について、どのように取り組んでいるのか。</p> <p>5 国民健康保険の広域化について</p> <p>国民健康保険の広域化は、市町村が独自に決めていた保険料を平準化させることなどを通じて、住民に保険料の負担増や徴収強化をもたらす仕組みとなると考えるがどうか。また、国民健康保険の保険料の引き下げが必要と考えるがどうか。</p>	<p>知 事</p> <p>知 事</p> <p>健康福祉部長</p> <p>健康福祉部長</p>